



2023年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社青山財産ネットワークス
 代表者名 代表取締役社長 蓮見 正純
 (コード番号 8929 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 コーポレートファイナンス本部長 橋場 真太郎
 (TEL 03-6439-5800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表しました2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、前回公表済み利益を上回り、2023年12月期においては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高の利益を計上する見込みとなりました。

記

1. 業績予想の修正について

2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,500	3,300	3,050	1,980	81.48
今回修正予想(B)	37,400	3,300	3,370	2,040	83.84
増減額(B-A)	△ 2,100	0	320	60	—
増減率(%)	△ 5.3	0.0	10.5	3.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	35,952	2,629	2,499	1,694	69.82

2. 修正の理由

2023年2月10日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想では、395億円の売上を見込んでおりましたが、主にADVANTAGE CLUBの組成額が当初予想を下回ることから、今回の修正予想では374億円の売上を見込んでおります。

売上高の詳細及び各段階利益の修正理由については以下の通りです。

(1) 財産コンサルティング

財産コンサルティングの売上は、過去最高の財産コンサルティングの売上を見込んでおります。年初に計画したお客様とのコンサルティングプランのクロージングが第4四半期に集中しており、第4四半期に偏重した売上及び利益の計上となりますが、本業の1つである財産承継はお客様数が堅調に推移しており、コンサルティング案件数の増加に伴い、前期を大幅に上回る見込みです。本業のもう1つの柱である事業承継コンサルティングにおいては、第3四半期までは昨年を大きく下回っておりますが、M&Aの成約や事業承継ファンドの回収により、昨年水準にキャッチアップできる見込みです。

(2) 不動産取引

不動産取引については、320億円の売上を見込んでおりましたが、2023年12月に販売を予定しているADVANTAGE CLUBの組成が翌期になることから、当初開示を下回る見込みです。



(3) 各段階利益

財産コンサルティング収益が拡大することから売上高営業利益率が大幅に改善する見込みです。これは戦略的個別サービスをフックとした顧客の増加や既存の取引金融機関からの顧客紹介の増加、ダイレクトマーケティングの進展等に伴う、顧客の増加に加え顧客単価も増加していることが要因です。不動産取引についてもADVANTAGE CLUBにおける不動産取引収益率は昨年を上回っております。以上により、売上高は前回発表予想を下回る見込みですが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回る蓋然性を確保しました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、公表すべき事象が生じましたら、速やかに公表いたします。

以 上